



芽が出て、葉が出て、花が咲く!



第1学年

文林学芸発表会②

引き続き、みなさんの作文です。お互いにどんなことを感じ、考えたのか、文章を読んで知りましょう。

僕は展示係の係長でした。係長としてよく居残りをしていました。友達と協力して作品を作り上げていきました。予定より作業が早く終わり、他のグループの手伝いをしました。しかし、一日だけさぼってしまったので、その日で完成させて、係長としてもっとみんなのサポートをしてあげれば、ギリギリまでやっていたグループも、少し余裕をもって終わらせられたのかなと思いました。そこを一つ反省しています。しかし、グループの作業が終わっていたみんなが、手伝っていたので「優しいなあ」と思っていました。僕も、今後はこういう機会があったら、みんなみたいに終わっていないグループの手伝いをしたいです。

次は、放送委員です。放送委員では、舞台袖にいる時の方が自席にいる時より多かったです。だから演劇部の発表や一年総合、二年総合は見ることができませんでした。しかし、学芸発表会が終わった後はなぜかすごくやりきった感じがありました。それはたぶん、係の仕事や委員会などの色々な作業をやってきたからだと思います。今後も色々なことを頑張っていきたいです。

このように僕は学芸発表会をやりきりました。来年や再来年の色々な行事を真剣に頑張っていきたいです。

僕はみんなよりも少し遅れてスタートしました。理由は胃腸炎です。一週間の入院をし、退院した後も体調を崩してしまったので全部で三週間ほど休みました。だから、久しぶりに行ってみると、発表会に向けて準備をしていました。この時、僕はみんなとの差を感じていました。ですが、そんな時僕を助けてくれたのも友達でした。わからないことがあったらすぐに聞き、みんなとの差を縮めようと思いました。

本番まであと一週間。展示の作品作りが始まったり、合唱をよりよいものに仕上げようとしていました。その時にはもう、自分の仕事を理解し、責任ももち始めました。

合唱では、発声練習をします。やり方は一つだけではなく、いくつもあります。そして歌は、自分のパートの音程を忘れないようにし、違うパートにつられないようにすることを意識しました。

本番前日、この日は特に忙しかったです。(中略)発表のパネル作成です。前のパネルを新しい物にしようと、本番前日に書き換えました。なんとその作業は、最終下校である六時三十分までかかりました。ですが、完成した時は達成感を味わうことができました。

本番当日は、千駄木小ジュニアオーケストラに感動したり、一年生と二年生の発表に笑ったりしました。

これから僕は、今回学んだことを生かしていきたいと思います。あの時僕のやることを友達が教えてくれなかったら、僕はおちていくばかりでした。自分の行動に責任をもち、自分が助けられたように他の人も助ける、これを生かしていこうと思います。



私は、今回文林中学校で過ごす初めての学芸発表会だった。今まで小学校等では「学芸会」という各学年が芝居を発表する行事や「学習発表会」という学習発表のみの行事などしかやっておらず、「学芸発表会」という行事がどのような行事なのか、分かっていなかった。

私が学芸発表会の中で最も苦戦したのは、演劇部の舞台だった。本番一週間前にもかかわらず、練習で台本が手放せない、という状態だった。でも、私はそこであまり努力をせずに本番前のリハーサルに挑んだ。結果は散々で、自分では頑張っていたつもりだったが、周りから受けた評価で自分の努力の足りなさを思い知らされた。そこから台本を読んで、言い方を考えていたけれど、本番ではそれが出せずに何ともやりきれない気持ちになった。この時、「時間はたくさんあったのに、なぜ練習もせずにやれると思ったのか。」と自分の中に大きな後悔の穴があった。初めから何度も練習していればこの穴を埋めることができたのに、本番ギリギリまで練習をしなかったことで、その分楽していたことが一気に降りかかってきたようだった。

このことから、もう二度とやらずに大きな後悔をするようなことはないように日々の積み重ねをしていこうと思った。演劇のことだけではなく、普段からあまり部屋を掃除せず、何かものを探す時に面倒くさいということがよくある。

私は今回の学芸発表会で改めて、普段からの積み重ね、努力をすることで自分が何かをする時に後悔しないようにできる、とすることを知った。また、予行練習の時に二年生が照明の手伝いをできる人がいなくて困っていた時、生徒会の三年生がすぐに動いていて、そのおかげで予行練習をスムーズ進めることができていたのですごいと思った。私たちもこのような時にただどうしよう、と思っているだけではなく、すぐに行動に移していけるようにしたいと思った。

僕は、文林中学芸発表会の一週間ほど前には、歌も発表内容も覚えていて、家で練習はいらないと、練習をさぼっていた。

しかし、練習はしなくていいと思っていた気持ちを覆す出来事が二つ起こってしまった。

一つ目は、八ヶ岳の発表をしている時だ。文は覚えていたので、相手の顔を見るのが大切だと分かっていたが、本番できると思い、練習をしなかった結果、この課題をクリアすることができなかった。

二つ目は、歌のことだ。練習では、間違えても大丈夫と大きな声で歌っていたが、本番、練習をしなくてもできると、勝手に思い込んだせいで、歌詞が不安で、大きな声で歌うことができなかった。

このように僕は、初めての文林学芸発表会で二つの失敗をしてしまった。ただし、その失敗は、次につなげるものだと思った。だから、今回の文林学芸発表会から学んだ、できたから練習しなくていいという考えは捨てて、練習であっても、何であっても真剣に取り組み、常に「上」のものにしていくという考えをもち、今後は過ごしていきたいと思います。

*** 数学 計算コンテストについて ***

日時：11/10（金）3校時

範囲：方程式 25題 リポート P 105～116（合格は80点以上(20題以上)です!!）

追試があります!!

追試：11/13（月）・11/14（火）・11/15（水）の AM7:35～7:50 ※7:55～ボランティア活動

場所：多目的教室1

定期考査の範囲でもあります。追試にならないように計画的にしっかりと復習をしましょう。追試では10題中8題以上で合格になります。朝も早いので、ご家庭での声かけもよろしくお願いします。